

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	骨巨細胞腫に関する多施設共同レトロスペクティブ研究
	研究目的	骨巨細胞腫 (Giant Cell Tumor of Bone, 以下 GCT) における, 肺転移 リスク因子の解明と, Denosumab の効果解析を目的とする.
	研究対象者	1989 年以降 2017 年 7 月 31 日までに骨巨細胞腫の治療を行った患者
	研究期間	西 暦 2019 年 3 月 6 日 ~ 西 暦 2022 年 4 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	比留間 徹
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	骨軟部腫瘍外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科・医員 小林 英介 千葉県がんセンター整形外科・部長 米本 司 慶應義塾大学整形外科 ・専任講師 中山 ロバート 東京大学病院整形外科 ・助教 小林 寛